

企業と大学が協働して若手社員、学生を育成する

「企業人と学生のハイブリッド」プログラム —概要—

職務上、若手社員が自ら携わっている課題を設定し、それをもとに若手社員1名+学生3~4名のプロジェクトチームで、4か月(月1回来学)をかけて、その課題への対応策を検討していただきます

参加人数

学生30名(3年生) / 企業10社10名(若手社員)

実施日

- ◇期間: 10月~1月の期間で隔週2回実施(授業)
(若手社員の参加は、月に1回・4か月で計4回の来学・授業参加)
- ◇隔週水曜、3限(13:15~14:45)、4限(15:00~16:30)
- ◇9/28にオリエンテーション、10/5に講座開始

効果

◆対企業

- ・プロジェクトマネジメントを経験することで、後輩を教える機会が少ない若手育成に役立つ。
- ・課題を出し、学生とともに解決を図ることで、長期スパンでの成長を感じることが出来る。
- ・会社の課題を考えることにより、当事者意識が芽生え、自ら考える癖が付くようになる。
- ・PDCAのサイクルを一通り体験することで、自ら考え行動するスキルを身につける。
- ・若手・上司・人事が大学と連携することにより、企業全体の人材育成力が向上する。

◆对学生

- ・インターンシップを終了した学生にとって、自身の力をブラッシュアップする機会になる。
- ・普段経験しない社会人との協働作業を通じて、社会を身近に知り、職業観育成や就活に役立つ。

講座内容

講座内容①：企業の課題の共有

- ・若手社員が事前に考えてきた企業の課題を学生に共有し、考えうる対応策を宿題として課す。
- ・講義: プロジェクトマネジメント、リーダーシップを学ぶ。

講座内容②：企業課題の対応策を検討する

- ・課題への対応策を発表。ディスカッションの上、最適と思われる対応策を選定する。
- ・講義: 問題解決の手法(分析手法等)、PDCAサイクルを学ぶ。

講座内容③：対応策・実行策の確定

- ・対応策とそれに対する実行策を確定する。
- ・企業訪問の際にメンターに見てもらおう資料として、プレゼンシートを作成する。
- ・講義: 問題解決の手法(ソリューションプラン)と実行策を学ぶ。

講座内容④：課題へ対応策の発表

- ・メンターに確認し、修正した対応策、実行策をプレゼンシートにまとめる。
- ・各グループごとに発表し、それぞれフィードバックを受ける。

留意点

- 参加社員には4ヶ月間課題に取り組んでいただきます。
- 課題進捗を確認していただく人事部門責任者、上司等の特定をお願いします。